



◀ ウィズで行われた「男の料理教室」

ひこね21世紀創造プラン

市民がつくる
安心と躍動のまち
彦根

- 1. 人権が尊重され、誰(だれ)もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
- 2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
- 3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
- 4. 明日の彦根市を担う人を育(はくく)むまちづくり
- 5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

ウィズ、1周年 特集

女も、男も、
もっと気軽に男女共同参画



▶ 彦根市男女共同参画センターウィズ(奥は福祉保健センター)

紹介します ウィズの講座

ウィズでは昨年のオープン以来、市民を対象としたさまざまな講座を開催してきました。

これらの講座は、身近な事例や、関心の高い話題を取り入れ、男女共同参画の話を初めて聞く人にも分かりやすい内容になっています。

その中から、ここでは4つの講座を紹介します。

男の料理教室

今までに包丁を持ったことがない人も、料理を学ぶだけでなく、家事として、自分の生活技術を身につけるための料理教室を開催しました。

定員を超える応募があったこの教室では、賢い買い物の秘訣なども紹介され、和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく料理をしました。

男性学講座

「過労死」「中高年男性の自殺急増」「定年離婚の増加」など、今の世のなかには、男性にとっても楽なものではありません。

「男性学」とは男であるがゆえに抱えている問題を男性の目で見つめなおし、より人間らしい生き方を考えるものです。仕事だけの人生で満

足ですか？男らしさと言つ重い鎧よろいに苦しんでいませんか。いっしょに、肩書きのない仲間づくりをしましょう。今年は、11月12日から開催の予定をしています。

女性と自立講座

話題となっている年金問題を始め、経済的な自立の視点から、自分に合った働き方を考え、利用可能なさまざまな制度を勉強しながら、女性の自立を目指し、自分自身の生き方を考えました。

向老学講座

あなたはどんな「老い」を迎えていますか。高齢者に対する虐待や、高齢者夫婦の介護疲れによる心中も増加しています。人は誰もが年を取ります。最後まで人間としての尊厳を失わず生きていく道を探しながら、積極的に「老い」に向き合う講座です。今年度も開講を予定しています。

このほかに、「ジェンダー講座」や「知って得する法律相談」など、いろいろな講座を企画しています。気軽に参加してください。

10月1日、彦根市男女共同参画センターウィズ(以下「ウィズ」と表記)が、平田町にオープンして1年を迎えました。男女共同参画社会の実現を目指して設置されたウィズでは、この1年間、女性も男性も参加できる講座を開催してきました。

ここでは、利用者の声を通じて、ウィズの機能と事業を紹介します。ウィズの目指す男女共同参画は決して難しいものではありません。皆さんもウィズを利用してみませんか。

地球の主役は女性!?

平成12年(2000)、国連特別総会「女性2000年会議」の中で、アナン事務総長は、「女性は地球の主役であるばかりか、地球の将来は女性の肩にかかっている。」と演説しました。

彦根市では、平成14年度に「男女共同参画を推進する彦根市条例」を施行し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。

しかし、「男は仕事、女は家庭」という、古い考え方にとらわれている人は、今でも少なくありません。多くの女性が、家庭という決められた人生を、疑問や反論もなく受け入れ、そのことを、男性だけでなく女性も「当たり前」のように済ましてきたのではないのでしょうか。

最近になり、「自分が自分らしくあるためにはどういう生き方ができるのか。」と、考える人も増えていきます。だれかの夫や妻、父や母という立場、あるいは、会社での肩書きを外したとき、あなたは個性ある自分を持つていますか。

ウィズの役割

ウィズの取り組みにおいては、男女の役割について、今までの「当たり前」を見直すことから始めました。そして、市民・行政・法人や団体などの事業者が協力して、女性も男性もが、自分の気持ちを素直に声に出して、個人と個人が対等につきあえる仲間作りに努めてきました。具体的には、仲間づくりや自分らしい生き方を探るきっかけとなる、男女共同参画に関するさまざまな講座や研修会を開催してきました。

これらの講座や研修会には、従来の発想を転換する新鮮な驚きや、多くの女性が心に抱く、説明できない迷いがすっきりとしていく感動にあふれています。そして、早いスピードで変化していく、女性と男性を取り巻く世の中の問題についても知る事ができます。市民の皆さんが、どういったテーマに興味があるのかを市民グループと共に考えながら協働で企画運営しています。

その結果、これまでほとんどしてこなかった家事も、最近では、少しずつですが、自然にできるようになりました。これは、女性の役割と決めつけていた家事を、男の自分がしてもいいじゃないかと気づいたからです。ですから、以前は自分がすることに抵抗のあった買い物も、今では普通に行っています。

時代の移り変わりや、社会環境の変化にともない、男女共同参画という考えはとても大切なものとなりました。しかし、私自身は、まだその考えを、素直に受け入れがたいことも事実です。これまでの自分の価値観を、すぐに変えることはできませんが、今、少しずつなら私も変われるような気がしています。

そして、「男の料理教室」にご夫妻で参加している人がいたことに新鮮な驚きを感じたことや、ウィズのスタッフに誘われて「男性学講座」や「向老学講座」を受講しているうちに、男女共同参画について考えるようになりました。

男女共同参画についての講義を聞くのは初めてでしたが、話の内容も堅すぎることなく、私たちの身の回りにある、男女の役割が、決して固定したものではないということ、受講者自身が気づくことができるような講座でした。また、参加者同士が自分の考えを話し合う時間があり、ほかの人の考えを聞くことができたことも私にとってはプラスでした。



男にとっての男女共同参画

とのむらでる お
外村輝夫さん
(大藪町)

2年前の私は、まだ男女共同参画について深く考えることはほとんどありませんでした。職場で女性職員がお茶を入れてくれたり、ごみを集めてくれることに対しても、感謝こそすれ、特に違和感はありませんでした。家庭でも、食事の準備も含めて家事全般は、共働きの妻に任せきりだったように思います。

そんな私が、興味本位で参加した「男の料理教室」をきっかけに、ウィズに通うことになりました。

ウィズの施設は借りることができます ▶



彦根市 ファミリー・サポート・センター

ウィズの中には、ファミリー・サポート・センターの事務所があります。ファミリー・サポート・センターは、地域で育児や介護の援助をしたい人と、援助を受けたい人が有料で助け合う会員組織です。

「お年寄りの話し相手や、ちょっとしたお手伝いをしたい。」「少しの時間なら、子どもを預かれます。」という人は提供会員に、「ちょっとお願いしたい。」という人は依頼会員に登録してください。

この事業はNPO法人保育サービスドリームに委託して運営しています。

入会説明会
開催日 毎月第3金曜日(10月は15日に開催)
時間 10:00~11:00と14:00~15:00
の2回実施
場所 男女共同参画センターウィズ会議室
問い合わせ先 男女共同参画センター
☎24-3920 (FAX共用)

貸し館事業
ウィズには会議室があるほか、軽運動室、調理実習室、講習室といった部屋があります。事前に申請していただければ、これらの施設はどんなでもご利用可能です。会議やスポーツ、趣味の会などに役立ててください。
休館日 火曜日、祝日
施設の利用には使用料が必要です。下の表をご覧ください。
夜間の利用は金・土曜日のみです。

(単位：円)

	午前 (9:00~13:00)	午後 (13:00~17:00)	夜間 (17:00~21:00)
軽運動室	1,000	1,000	1,000
会議室1 (15人程度)	400	400	400
会議室2 (25人程度)	600	600	600
会議室3 (20人程度)	600	600	600
講習室	600	600	600
調理実習室	1,300	1,300	1,300

ウィズの開館時間 8:30~18:15
(ただし金・土曜日は~21:15)
休館日 毎週火曜日、祝日

ご利用ください まだまだあるウィズの使い方

ウィズの魅力は講座だけではなく、相談事業はウィズの役割の中でも重要な事業です。最近では、家族間の問題や、離婚に関する相談が増加しています。

ウィズ相談室

多彩な講座と同じく、相談事業はウィズの役割の中でも重要な事業です。最近では、家族間の問題や、離婚に関する相談が増加しています。「総合相談」では、3人の相談員が、週3回、面接と電話で相談に応じています。また、相談の内容によっては、臨床心理士による「こころの悩み相談」や、弁護士による「法律相談」を受けていただくこともできます。相談内容など秘密は厳守します。

お困りのことがありましたら、一人で悩まないでご利用ください。
相談日 毎週水・木・金曜日の午後1時~同4時(ただし、年末年始・祝日を除く)
相談専用ダイヤル ☎24-5757番

図書コーナー

ウィズでは、ロビーの一角に図書



◀ 図書コーナー

コーナーをもうけています。図書コーナーには、男女共同参画に関する図書や雑誌、ビデオなど、約1,000冊の蔵書があります。また、インターネットが利用できるパソコンを1台備えてあり、インターネットを利用した情報検索もできます。図書コーナーはどなたでも気軽に利用でき、図書やビデオは貸し出しも可能です。男女共同参画に関する情報を知りたい人、研修などの参考にしたい人はぜひご利用ください。

紙上 談話室 25

ひとりひとりが輝いて生きられる
まちづくりを目指して
|| 彦根市男女共同参画センター ||

彦根市長 中島一

育児、家事、介護などの家庭責任を、男女が共同で担い、名実ともに男女平等の社会の実現を目指し、国は、平成11年(1999)、男女共同参画社会基本法を制定、施行しました。この理念は、(1)男女とも個人としての人権が大切にされる、(2)性による固定的な役割分担を反映した現在の制度や慣行を中立的なものとしていく、(3)国や自治体、民間を問わず、政策の立案や決定は、男女が共同して参画する、(4)どのような活動も家庭生活との両立を目指す、としています。

彦根市では、平成14年4月から、県内市町村では初めて「男女共同参画を推進する彦根市条例」を施行しました。

この条例に基づき、市民や事業所とのパートナーシップのもと、実践、交流、研修、啓発の市民活動の拠点として、旧「働く婦人の家」を改修して、平成15年10月1日、「彦根市男女共同参画センターウィズ」をオープンしました。ウィズという名前には、公募により命名したもので、「ともにいっしょに」、男女が同じラインに立ち、協力しあって問題解決に向かうという意味が込められています。

ウィズの主な事業として、男女共同参画に関する講演会や研修会のほか、総合相談、法律相談、こころの悩み相談などの相談事業、さらに、図書、インターネットなどによる情報提供などを行っています。中でも、男女共同参画の推進を目的に活動する団体などの活動や、相互交流の支援に力を入れています。

また、ウィズの中に同時にオープンした「彦根市ファミリー・サポート・センター」は仕事と家庭、または介護の両立を支援する目的で設置した、地域で育児や介護の援助をしたい人、援助を受けたい人が、有料で助け合う会員組織です。

今後この施設を、男女共同参画を目指す市民の活動拠点として、行政と事業者、市民とのパートナーシップにより輝いて生きられるまちづくりを目指します。

始まりは やさしいことから

渡邊美幸さん
(西今町)



た。ある講座の中で、主人とは、本来は、主従関係において上に立つものことであり、夫のこと、を主人と言っていることを聞いた。

現在、ウィズで活動する登録団体は37団体あります。私たち「木曜卓球クラブ」はその中でも、ウィズができる前の、働く婦人の家の頃から施設を利用して来た団体の一つです。

ウィズの登録団体は、「男女共同参画社会の実現を図ること」を活動目的としています。ところが、私たちは卓球のクラブだったので、突然、男女共同参画と言われても、活動の中で、具体的に何をすればいいのか考え込んでしまいました。

しばらくして、ウィズのスタッフと話す機会が増える中、「こんな講座をやっているから参加してみませんか。」と声をかけてもらうようになりました。試しに、クラブの仲間とウィズの講座に参加してみました。すると、普段意識していない多くのことに気づきました。

例えば、私は夫を紹介するときに、特に意識もせずに、主人という言葉をよく使っていました。

長い間に作られた夫と妻の社会的関係が反映されていると聞き、今まで、そのようなことを意識したこともなかった私は、新鮮な驚きを受けました。こうした話は、自然にクラブの休憩時間の話題になりました。さらに、お互いの考えを聞いた、話したりしているうちに、クラブ全体が以前よりまとまってきたように思います。自分も思いがけずウィズの講座や行事に参加して、少しずつですが、男女共同参画のことが分かりかけてきたように感じます。

ウィズは、男女共同参画に既に取り組んでいる人や、団体だけが利用する施設ではもったいないと思います。貸し館などは、もっと広く市民に呼びかけて、たくさんの方がウィズに集まるようになるといいと思います。私たちが卓球から入ったように、ウィズの利用を通して、みんなが男女共同参画に取り組めるようになればいいですね。